



第55期第2四半期(2026年5月期)

決算説明資料

2026年1月14日
タケダ機械株式会社
証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2026年5月期第2四半期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度又は対予想値との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
売 上 高	2,309	2,578	△269	△10.4%
営 業 利 益	230	286	△55	△19.5%
経 常 利 益	239	294	△54	△18.6%
(親会社株主に帰属する) 中間純利益	159	196	△36	△18.6%

	当年度 実績値	当年度 予想値	対予想値との差異	
売 上 高	2,309	2,500	△190	△7.6%
経 常 利 益	239	220	+19	+9.0%

【対前年度との差異における主な要因】

〈売上高、各段階利益の減少〉

設備投資を抑制する動向

- ・膨らむ建設費用→建設市況の低迷
- ・先行き不透明な景況感

付加価値の高い大型機械の出荷増等に伴い、利益減少を抑制(売上構成差異)

【対予想値との差異における主な要因】

〈売上高の減少〉

- ・継続する建設需要を見込むも市況が想定より低調に推移
- ・補助金申請の影響→納期が後倒しへ

〈経常利益の微増〉

上記に記載する売上構成差異の影響

2026年5月期第2四半期の決算概要

(連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
流 動 資 産	5,287	5,267	+19	+0.4%
固 定 資 産	2,320	2,349	△28	△1.2%
(有形固定資産)	(1,747)	(1,784)	(△37)	(△2.1%)
(無形固定資産)	(81)	(82)	(△1)	(△1.4%)
(投資その他)	(492)	(482)	(+9)	(+2.0%)
資 产 計	7,608	7,617	△9	△0.1%

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

【流動資産】

(増加の主な要因)

- ↗ • 現金及び預金 +118
- ↗ • 電子記録債権 +70

(減少の主な要因)

- ↘ • 受取手形及び売掛金 △167
- ↘ • 棚卸資産 △10

【固定資産】

(増加の主な要因)

- ↗ • 繰延税金資産 +3

(減少の主な要因)

- ↘ • 建物及び構築物 △14

2026年5月期第2四半期の決算概要

(連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
負 債	2,296	2,401	△104	△4.4%
(流 動 負 債)	(1,577)	(1,559)	(+18)	(+1.2%)
(固 定 負 債)	(719)	(842)	(△122)	(△14.6%)
純 資 産	5,311	5,216	+95	+1.8%
(株 主 資 本)	(5,267)	(5,181)	(+86)	(+1.7%)
(包 括 利 益)	(43)	(34)	(+9)	(+26.6%)
負債・純資産計	7,608	7,617	△9	△0.1%

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

【負債】

(増加の主な要因)

- 電子記録債務 +74
- 未払法人税等 +59

(減少の主な要因)

- 支払手形及び買掛金 △122
- 長期借入金 △97
(1年内返済予定の長期借入金含む)
- 賞与引当金 △14

【純資産】

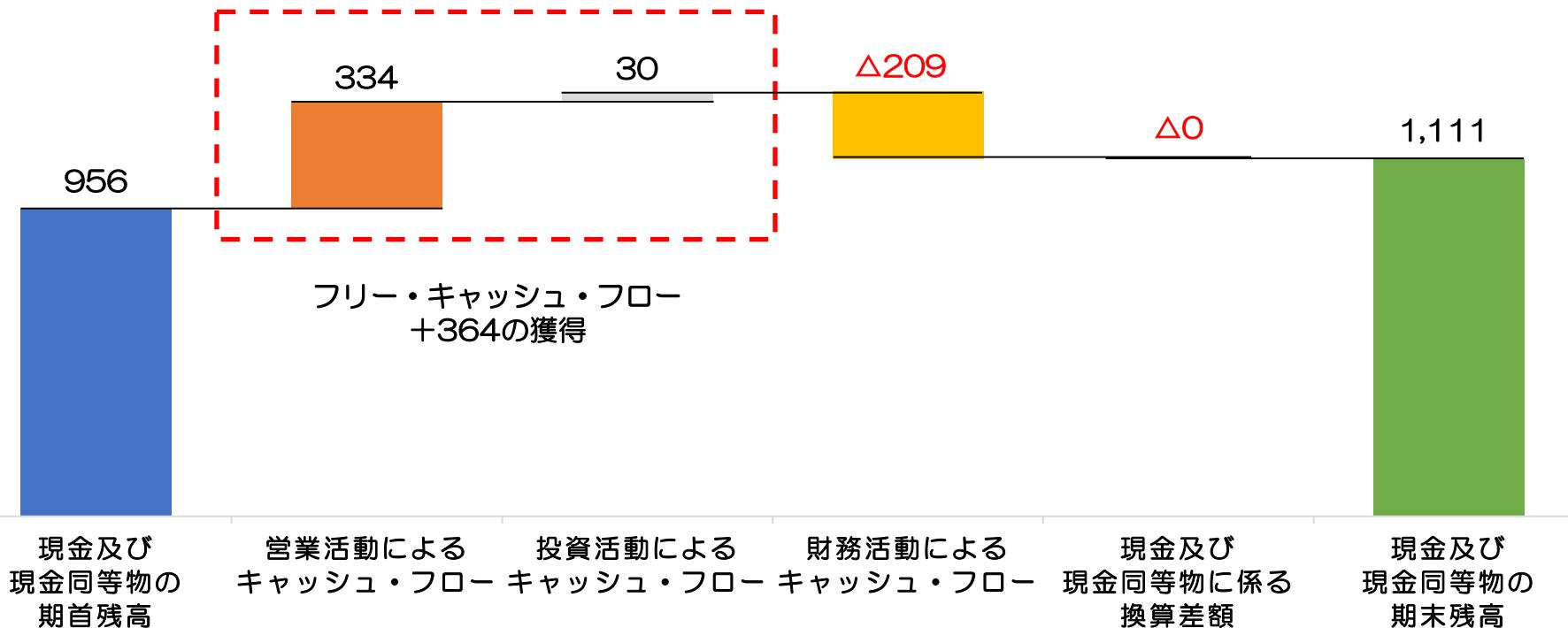
(増加の主な要因)

- 利益剰余金 +86
- その他有価証券評価差額金 +9

2026年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当第2四半期における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

2026年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期首残高	956	1,562		
営業活動によるCF	334	△514	+848	—
投資活動によるCF	30	21	+8	+40.4%
財務活動によるCF	△209	△211	+1	—
換算差額	△0	0	△0	—
期末残高	1,111	857		

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。
 2. 右記に記載の内容は、対前年度との差異についての記載であります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・売上債権の増減額 +501
- ・棚卸資産の増減額 +150
- ・法人税等の支払額 +178

(減少の主な要因)

- ・仕入債務の増減額 △69
- ・税金等調整前中間純利益 △54

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・投資有価証券の売却による収入 +45

(減少の主な要因)

- ・定期預金の支出入 △33

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

(増加の主な要因)

- ・リース債務の返済による支出 +2

2026年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移及び当期の業績予想数値					当期 第2四半期
	2022年	2023年	2024年	2025年	※当期予想	
売 上 高	4,444	4,689	5,464	4,890	5,000	2,309
経 常 利 益	409	416	659	441	350	239
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	260	316	427	293	230	159

※2025年7月15日付
公表の予想数値

【当期の見通しについて】

(プラス要因)

継続する建設需要

- ・都市部の鋼構造物プロジェクト
- ・国土強靭化基本計画によるインフラ需要
- ・物流倉庫、データセンター等の建設

(マイナス要因)

建設需要の停滞懸念

- ・構造的要因による人手不足
→建設工期の長期化又は遅延
- ・建設費用の増加(鋼材価格、人件費等)
→建設計画の延期又は中止のおそれ

インフレ、関税等の地政学的リスク

- ・中小企業の負担増、設備投資の冷え込み

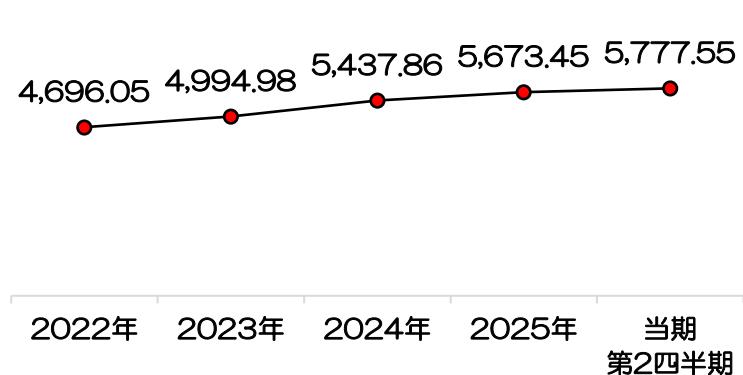
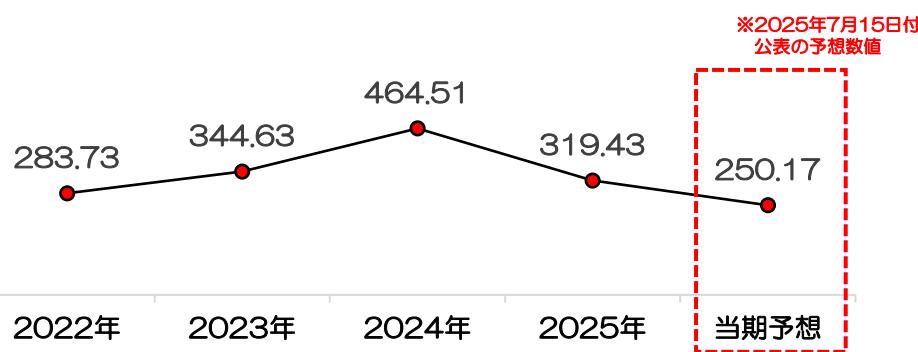
2026年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)②

1株当たり当期純利益

(単位：円)

1株当たり純資産

(単位：円)

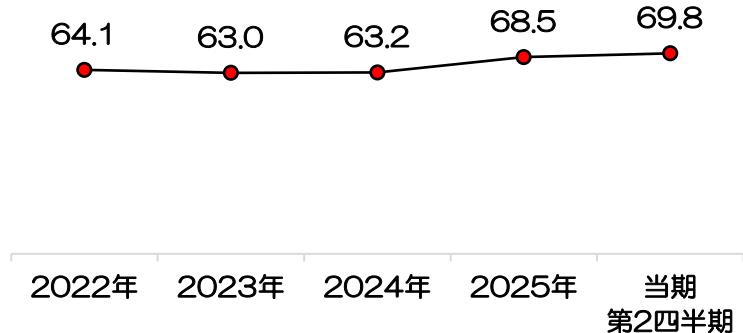
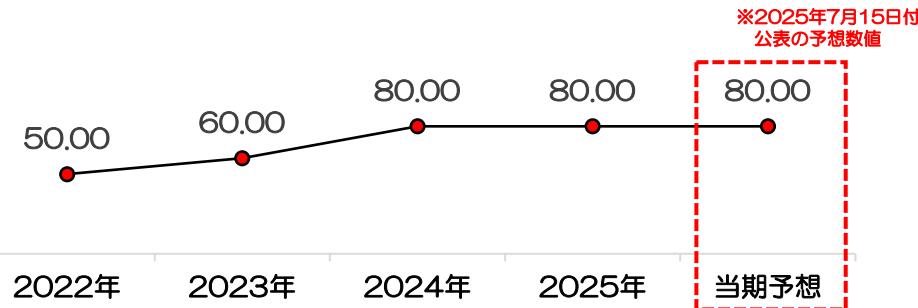


1株当たり配当金

(単位：円)

自己資本比率

(単位：%)



2026年5月期第2四半期の決算概要 (直近の現金及び現金同等物の推移)

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2022年	2023年	2024年	2025年	当期 第2四半期
期 首 残 高	266	872	601	1,562	956
営業活動による キャッシュ・フロー	991	△82	1,267	△587	334
投資活動による キャッシュ・フロー	△63	△71	△108	△23	30
財務活動による キャッシュ・フロー	△321	△116	△197	4	△209
換 算 差 額	△1	△0	△0	0	△0
期 末 残 高	872	601	1,562	956	1,111
フリー・キャッシュ・ フロー	927	△154	1,158	△610	364

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

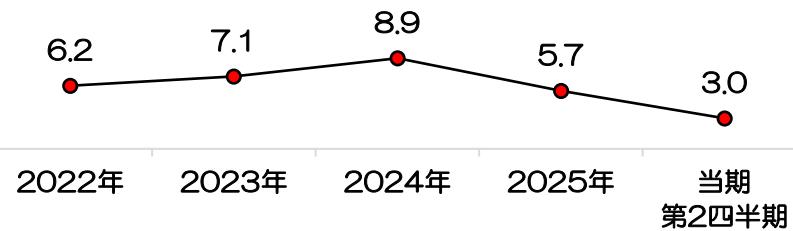
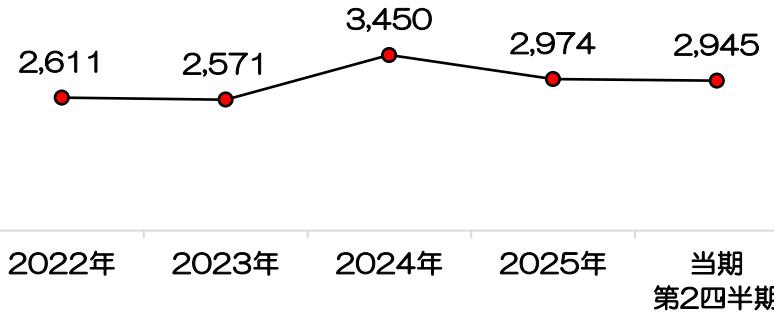
2026年5月期第2四半期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

期末日の株価

(単位：円)

自己資本当期純利益率

(単位：%)

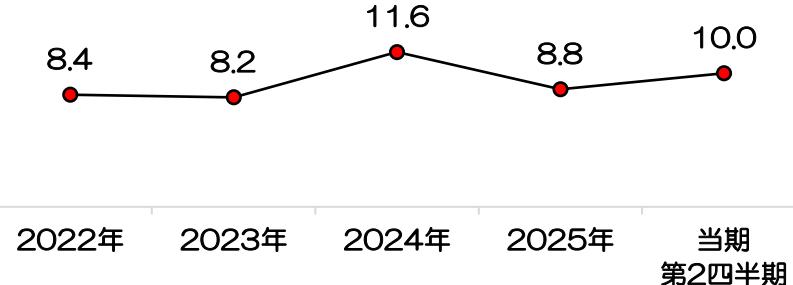
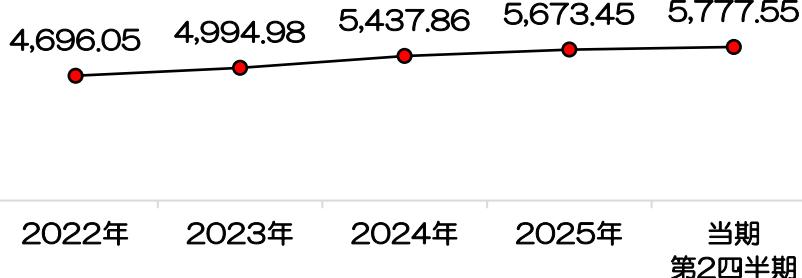


※(参考) 1株当たり純資産

(単位：円)

売上高営業利益率

(単位：%)



HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に応える加工システムをご提案します。